

札幌市農耕地土壤図(1/5万)

(地力保全基本調査、札幌地域)

札幌市役所
(北海道立中央農業試験場)

(平成14年3月)

24

本土壌図・報告書は、農水省北海道農業試験場発行の土性調査報告書、第15編「石狩国南部および胆振国東部（一部）土性調査報告書 石狩支庁管内（市を含む）」（昭和40年2月）を参考にし、現札幌市内の農耕地について地力保全基本調査様式に準じて編集・発行したものです。従って、実調査の年代は昭和27～34年と古く、また、農耕地の分布域は、昭和50年代後半の国土地理院1/5万地形図より判定した大まかなものです。以上の点に留意して利用してください。なお、面積については、各土壌区の合計面積を、昭和60～61年版の市町村別農業統計による札幌市の総農地面積に合致させてあります。

（編集担当）北海道立中央農業試験場
農業環境部 環境保全科

— 目 次 —

土壤区一覧表	1
各土壤区の代表的断面形態、分析値および解説	
(水田) 樽川統一樽川区	4
東雁木統一東雁木区	5
厚別上統一厚別上区	6
厚別下統一厚別下区	7
野幌下統一野幌下区	8
有明統一有明区	9
下水場統一下水場区	10
穴沢統一穴沢区	11
拓北統一拓北区	12
藤沢統一藤沢区	13
(畑) 滝野統一滝野区	14
南区統一南区区	15
月寒台統一月寒台区	16
中ノ沢統一中ノ沢区	17
山口統一山口区	18
福移統一福移区	19
東区統一東区区	20
白川統一白川区	21
丘珠統一丘珠区	22
篠路統一篠路区	23
新川統一新川区	24
上篠路統一上篠路区	25
太平統一太平区	26
茨戸統一茨戸区	27
西角山統一西角山区	28
河岸統一河岸区	29

創成統一創成区	30
豊滝統一豊滝区	31
薄別統一薄別区	32
盤溪統一盤溪区	33
北ノ沢統一北ノ沢区	34
星野統一星野区	35
星置統一星置区	36
平和統一平和区	37
土場統一土場区	38
焼山統一焼山区	39
前田統一前田区	40
東篠路統一東篠路区	41
屯田統一屯田区	42
鉄工統一鉄工区	43
山本統一山本区	44
中沼統一中沼区	45
(付表1)生産力可能性分級基準	46
(付表2)土壌分類の一覧	48
(付表3)断面柱状図の記号の説明	50
(付表4)要土地改良、土層改良土壌一覧	51

土壌区分一覧表

設色	上壤統群	上壤区分名	地図上の記号	簡略分級式	面積 (ha)	腐植質の含有率	礫層及び砂層の厚さ	酸化沈着物	土壌の性質		泥炭	クラゲ層	堆積様式	母材	土壌分類コード		代表地点
									表層	次層					全上壤統	北海道案	
	02A	樽川	T	III _n II _{fa}	84	表層腐植質なし	12cm以下砂層	あり	壤質	砂質	なし	12cm以下	水積(海成)	非固結堆積岩	02A01	1211	63
	14G	東雁木	HK	III _a II _{tp}	215	表層腐植質なし	なし	あり	強粘質	泥炭	40cm以下	40cm以下	水積集積	非固結堆積岩 ヨシノハノノキ	14G28	7344	69
	13C	厚別上	AK	III _n II _{tf}	113	表層腐植質なし	30cm以下砂層	あり	壤質	砂質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	13C11	7212	86
	12E	厚別下	AN	III _n III _{tf}	64	表層腐植質なし	なし	あり	壤質	壤質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12E12	7112	87
	14G	野幌下	NS	II _{ufa}	73	全層腐植質多層腐植質	なし	あり	壤質	泥炭	28cm以下	28cm以下	水積集積	非固結堆積岩 ヨシノハノノキ	14G30	7342	91
	14G	有明	A	II _{dra}	125	表層多層腐植質	30~45cm 67~73cm砂層	あり	壤質	粘質	45~65cm 75cm以下泥炭含む	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	14G34	7342	92
	14G	下水場	G	II _{una}	16	表層腐植質	なし	あり	壤質	強粘質	38~60cm泥炭含む	38cm以下	水積集積	非固結堆積岩 ヨシノハノノキ 非固結堆積岩	14G29	7342	94
	12F	穴沢	AS	III _{ni} II _{clfa}	23	表層腐植質なし	50cm以下礫層	あり	壤質	礫質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12F16	7113	105
	12D	拓北	TH	II _{tpa}	95	表層腐植質	90cm以下砂層	あり	強粘質	粘質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12D08	7124	113
	12D	藤沢	FS	II _{lia}	81	表層腐植質	なし	あり	壤質	粘質	なし	なし	水積(扇状)	非固結堆積岩	12D11	7123	158
札幌市(水田) 小計 889ha																	
	03D	滝野	TN	III _{gase} II _{tfni}	329	表層腐植質	20cm以下礫層	なし	壤質	礫質	なし	なし	風積残積	非固結火成岩 固結火成岩	03D32	2312	25
	06C	南区	MI	III _{dmase} II _{tpwi}	88	表層腐植質なし	50cm以下礫層	あり	粘質	礫質	なし	なし	風積残積	非固結火成岩 固結火成岩	06C15	3111	27
	03D	月寒台	TS	III _{(w)e} II _{fas}	69	表層多層腐植質	70cm以下砂層	なし	壤質	砂質	なし	なし	風積	非固結火成岩 非固結堆積岩	03D39	2322	41B
	07A	中ノ沢	N	III _{(w)e} II _{wfnias}	21	表層腐植質	なし	あり	壤質	強粘質	なし	なし	風積	非固結火成岩 非固結堆積岩	07A01	4121	57
	02A	山口	YK	IV _(w) III _n II _{tf}	255	表層腐植質なし	全層砂層	あり	砂質	砂質	なし	なし	水積(海成)	非固結堆積岩	02A01	1211	60

土壌区分一覽表

設色	土壌統群	土壌区分名	地図上の記号	簡略分級式	面積 (ha)	腐植層順序	礫及び砂礫層	酸沈積物	土性		泥炭	グラフ層	堆積様式	母材	土壌分類コード		代表地点
									表層	次層					全土壌統	北海道家	
	14D	福移	F	IIIw IIta	32	表層腐植層	なし	あり	壤質	強粘質	なし	45cm以下	水積(河成)	非固結堆積岩	14D16	7322	65
	12F	東区	H	II twa	620	表層腐植層 な	80cm以下 砂層	あり	粘質	強粘質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12F15	7214	68
	12B	白川	SK	IV(w) IIcf	74	表層腐植層 な	全層砂	なし	砂質	砂質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12B04	7112	73
	12B	丘珠	O	II tw	49	表層腐植層 な	30~80cm 砂質	なし	壤質	砂質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12B03	7112	76
	12A	篠路	SR	II tw	177	表層腐植層 な	25~28cm 砂層	90cm以下	壤質	粘質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12A02	7113	77
	12C	新川	S	III t II dwn	118	表層腐植層 な	55cm 以下礫	なし	壤質	壤質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12C06	7112	78A
	12E	上篠路	KR	III t(w) II na	40	表層腐植層 な	35cm以下 砂層	あり	壤質	砂質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12E12	7111	79
	12D	太平	OH	II tpwn	94	表層腐植層 な	なし	あり	粘質	粘質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12D10	7213	83
	12B	茨戸	B	III t(w)	26	表層腐植層 な	15~45cm 砂層	なし	壤質	砂質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12B03	7112	100
	12B	西角山	NK	III t(w) II f	66	表層腐植層 な	35~90cm 砂質	なし	壤質	砂質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12B03	7112	102
	12A	河岸	K	III t II pwna	14	表層腐植層 な	なし	なし	粘質	強粘質	なし	なし	水積(河成)	非固結堆積岩	12A01	7113	111
	14A	創成	SS	III t II pwna	96	表層腐植層 な	なし	あり	粘質	強粘質	なし	65cm以下	水積(湖成)	非固結堆積岩	14A01	7243	120
	06C	豊池	TT	III tdgi II wfase	332	表層腐植層 な	30cm以下 礫層	なし	壤質	礫質	なし	なし	水積(扇状)	非固結堆積岩	06C22	3111	130
	06C	薄別	U	IV t III e II d gwnias	61	表層腐植層 な	50cm以下 礫質	なし	壤質	壤質	なし	なし	水積(扇状)	非固結堆積岩	06C23	3111	134
	06C	盤溪	BK	IV t III d ise II g pwa	106	表層腐植層 な	25cm以下 礫層	なし	粘質	粘質	なし	なし	水積(扇状)	非固結堆積岩	06C20	3111	138

土壌区分一覧表

設色	土壌統群	土壌区分名	地図上の記号	簡略分級式	面積 (ha)	腐植層厚	層及び砂礫層	酸沈積物	土性		泥炭	クラゲ層	堆積様式	母材	土壌分類コード	代表地点	
									表層	次層							
	06C	北ノ沢	KS	IIIcise IIgppwa	83	表層腐植層	45cm以下 礫質	あり	粘質	粘質	なし	なし	水積 (扇状)	非固結堆積岩	06C20	141	
	12C	星野	HN	III(d)(w)j IItn	10	表層腐植層 なし	30cm以下 礫層	なし	壤質	礫質	なし	なし	水積 (扇状)	非固結堆積岩	12C05	142	
	14E	星置	HO	IItwfna	19	表層腐植層 なし	37~70cm 砂層	あり	壤質	砂質	なし	70cm以下	水積 (扇状)	非固結堆積岩	14E23	143	
	06C	平和	HW	IIIase IItdwmi	90	表層腐植層	50cm以下 礫層	なし	壤質	礫質	なし	なし	水積 (扇状)	非固結堆積岩	06C23	145	
	03C	土場	D	IItdwf	11	表層多腐植層	50cm以下 礫層	なし	壤質	礫質	なし	なし	水積 (扇状)	非固結堆積岩	03C21	153	
	06C	焼山	Y	IIItase IIdwfmi	106	表層腐植層	50cm以下 礫質	あり	壤質	粘質	なし	なし	水積 (扇状)	非固結堆積岩	06C19	159	
	16A	前出	MA	IIItn IIfe	144	表層多腐植層	45cm以下 砂層	あり	砂質	泥炭	13~45cm 泥炭層	13~45cm クラゲ	水積 集積	非固結堆積岩 低位泥炭	16A05	165	
	16A	東篠路	HR	IIIwn IIrae	83	表層多腐植層	なし	なし	壤質	泥炭	20~70cm 泥炭層	20cm以下	水積 集積	非固結堆積岩 低位泥炭	16A05	166	
	16A	屯田	TD	IIItn IIwae	107	全層多腐植層	なし	なし	壤質	泥炭	20cm以下 泥炭	20cm以下	水積 集積	非固結堆積岩 低位(コンソノキ)	16A01	167	
	16A	鉄T	TK	IIItwna IIe	659	全層多腐植層	なし	なし	壤質	泥炭	15cm以下 泥炭	15cm以下	水積 集積	非固結堆積岩 低位(コンソノキ)	16A01	168	
	16A	山木	YM	IIIwna IIife	205	全層多腐植層	なし	なし	壤質	泥炭	17cm以下 泥炭	17cm以下	水積 集積	非固結堆積岩 中間(ミマカヤ)	16A02	170A	
	16A	中沼	NN	IIItwna IIife	577	全層多腐植層	なし	なし	砂質	泥炭	15cm以下 泥炭	15cm以下	水積 集積	非固結堆積岩 高位(ミマカヤ)	16A03	174	
札幌市(畑) 小計 4,761ha																	
<p style="text-align: center;">農耕地土壌分類 (全国土壌統)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 02A 砂丘未熟土 03C 表層多腐植層暗黒ボク土 03D 表層腐植層暗黒ボク土 06C 礫質褐色台地土 07A 礫質褐色森林土 12A 中粗粒褐色低地土、瑛紋なし 12B 中粗粒褐色低地土、瑛紋なし 12C 礫質褐色低地土、瑛紋なし 12D 細粒褐色低地土、瑛紋あり </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 中粗粒褐色低地土、瑛紋あり 礫質褐色低地土、瑛紋あり 礫質灰色低地土、灰色系 細粒クラゲ土 細粒クラゲ土 中粗粒クラゲ土 中粗粒クラゲ土、下層有機質 泥炭土 </td> </tr> </table>																02A 砂丘未熟土 03C 表層多腐植層暗黒ボク土 03D 表層腐植層暗黒ボク土 06C 礫質褐色台地土 07A 礫質褐色森林土 12A 中粗粒褐色低地土、瑛紋なし 12B 中粗粒褐色低地土、瑛紋なし 12C 礫質褐色低地土、瑛紋なし 12D 細粒褐色低地土、瑛紋あり	中粗粒褐色低地土、瑛紋あり 礫質褐色低地土、瑛紋あり 礫質灰色低地土、灰色系 細粒クラゲ土 細粒クラゲ土 中粗粒クラゲ土 中粗粒クラゲ土、下層有機質 泥炭土
02A 砂丘未熟土 03C 表層多腐植層暗黒ボク土 03D 表層腐植層暗黒ボク土 06C 礫質褐色台地土 07A 礫質褐色森林土 12A 中粗粒褐色低地土、瑛紋なし 12B 中粗粒褐色低地土、瑛紋なし 12C 礫質褐色低地土、瑛紋なし 12D 細粒褐色低地土、瑛紋あり	中粗粒褐色低地土、瑛紋あり 礫質褐色低地土、瑛紋あり 礫質灰色低地土、灰色系 細粒クラゲ土 細粒クラゲ土 中粗粒クラゲ土 中粗粒クラゲ土、下層有機質 泥炭土																
北海道分類																	
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 121 砂丘未熟土 231 軽しよら 232 ローム質 242 褐色森林土 311 褐色森林土 312 暗色表層褐色森林土 321 礫質表層褐色森林土 412 暗色表層褐色森林土 711 褐色低地土 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 712 暗色表層褐色低地土 721 灰色低地土 724 クラゲ土 731 暗色表層クラゲ土 732 暗色表層クラゲ土 734 暗色表層クラゲ土 812 無機質表層低位泥炭土 822 無機質表層中間泥炭土 832 無機質表層高位泥炭土 </td> </tr> </table>																121 砂丘未熟土 231 軽しよら 232 ローム質 242 褐色森林土 311 褐色森林土 312 暗色表層褐色森林土 321 礫質表層褐色森林土 412 暗色表層褐色森林土 711 褐色低地土	712 暗色表層褐色低地土 721 灰色低地土 724 クラゲ土 731 暗色表層クラゲ土 732 暗色表層クラゲ土 734 暗色表層クラゲ土 812 無機質表層低位泥炭土 822 無機質表層中間泥炭土 832 無機質表層高位泥炭土
121 砂丘未熟土 231 軽しよら 232 ローム質 242 褐色森林土 311 褐色森林土 312 暗色表層褐色森林土 321 礫質表層褐色森林土 412 暗色表層褐色森林土 711 褐色低地土	712 暗色表層褐色低地土 721 灰色低地土 724 クラゲ土 731 暗色表層クラゲ土 732 暗色表層クラゲ土 734 暗色表層クラゲ土 812 無機質表層低位泥炭土 822 無機質表層中間泥炭土 832 無機質表層高位泥炭土																

北海道土壌統名 厚別上(AK)

北海道第2次案 灰色低地土(7212)

暗褐 HSL 可ぞ粘着なし、透水良

褐黄 HSL 可ぞ粘着なし、透水良

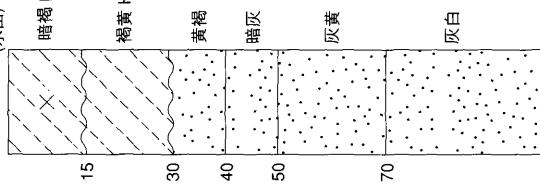
全国土壌統名 追子野木(13C11)

土壌群、統群 礫質灰色低地土、灰色系

簡略分級式 IIIIn IIzf

砂層(浮石砂)過良透水

厚別上(AK) (86)



<特徴>

旧豊平町の厚別川上流域に分布。土性調査では月寒川統に相当する。標高100~300m、傾斜3度内外の沢地の沖積土(下層砂質)で主な母材は凝灰岩(豊平石部層、支笏熔結凝灰岩類)。表土は砂壤土で、腐植に乏しく、保肥力は小さく、養分も少ない。下層は30cm以下から砂層で、透水性が過良であり、畑利用時には干ばつの恐れがある。

示性分級式 (水田)

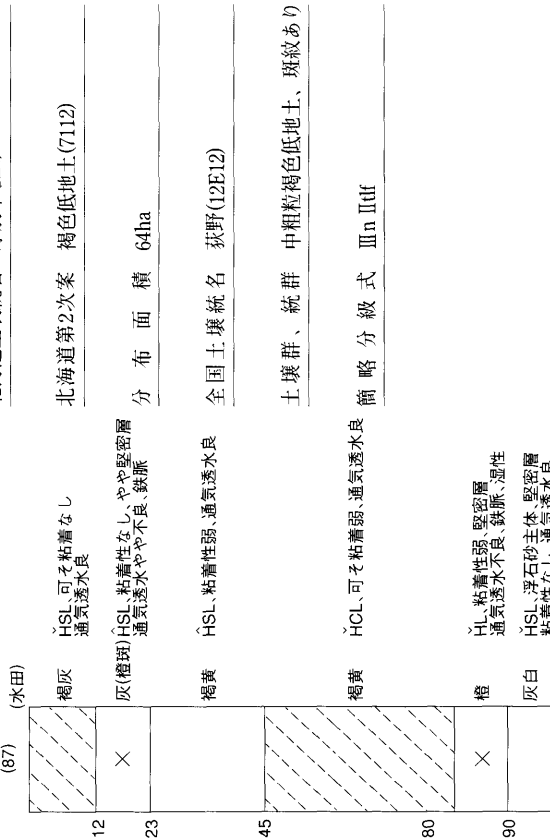
土壌生産力可能性等級	tdgp	土の層の厚さ	深易
表土の風乾性	性	土の粘着性	性
湛水(表土の風乾性)	性	土の透水性	性
遊離鉄イオン	濃度	遊離鉄イオン濃度	濃度
遊離鉄イオン濃度	濃度	遊離鉄イオン濃度	濃度
遊離鉄イオン濃度	濃度	遊離鉄イオン濃度	濃度
遊離鉄イオン濃度	濃度	遊離鉄イオン濃度	濃度
遊離鉄イオン濃度	濃度	遊離鉄イオン濃度	濃度
遊離鉄イオン濃度	濃度	遊離鉄イオン濃度	濃度
遊離鉄イオン濃度	濃度	遊離鉄イオン濃度	濃度
遊離鉄イオン濃度	濃度	遊離鉄イオン濃度	濃度

簡略分級式 IIIIn IIzf

層位名	採取部位 cm	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法				C/N 比	国際法粒径組成				真比重	Y ₁	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基飽和度 %	置換性塩基 me/100g				有効りん酸 mg	容積重 g	含量 %											
							粘土 %	性土 %	粗砂 %	細粗 %		シルト %	粘土 %	酸性土 %	Ca						Mg	K	Na															
1	0~15	1.6	3.3	0.17	11	17.6	SL					5.0	4.6	9	275	8.8	4.4	50	2.2	1.7	0.5		91.0	3														
2	15~30	1.9	2.9			20.9	SL					5.1	4.7	7	412	10.6	4.5	48	2.7	1.6	0.2		77.5															
3																																						
4																																						
5																																						
6																																						

北海道土壤統名 厚別下 (AN)

厚別下 (AN)
(87)



<特徴>

旧豊平町の厚別川中流域に分布。土性調査では月寒川統に相当する。標高20~80m、傾斜2度内外の沢地にあり、堆積時期の新しい、腐植に乏しい砂質沖積土。表土は砂壤土で、腐植に乏しく、保肥力は小さく、養分は少ないが、下層は通土で理化学性は良好。近接の厚別上区よりは全般的に生産力は高い。

示性分級式 (MH)

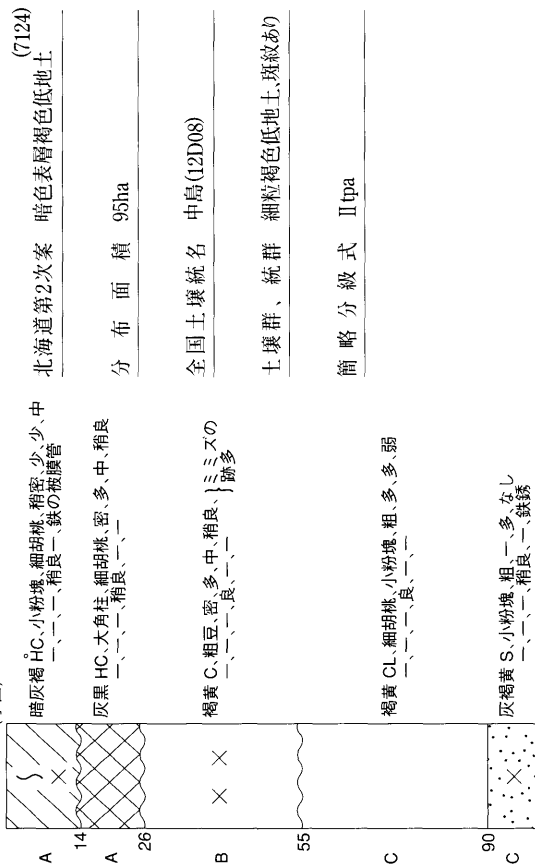
土表有表耕	土の粘着性	土の厚さ	土の可塑性	土の層深	土の孔隙率	土の容積重	土の水分	土のpH	土の乾燥性	土の酸化還元性	土の有機物含量	土の陽イオン交換容量	土の微酸量	土の有害物質の有害性	土の物理的障害の有無	土の増冠水の危険度	土の災害
表	粘	厚	可	深	孔	容	分	pH	乾	化	有	微	有	有	増	災	
II	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
III	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

簡略分級式 III n II t f

層位	採取部位 cm	層位名	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法			国際法粒径組成				真比重	三相分布		孔隙率 %	pH	Y ₁	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基度 %	塩基飽和度 %	置換性塩基 me/100g				有効りん酸 mg	容積重 g	含量 %	
							粘土 %	砂 %	シルト %	粘土 %	粗 %	細 %	粗 %		Ca	Mg								K	Na						
1	0~12		1.3	2.1	0.15	8	21.0	SL					2.4	固相 %	液相 %	気相 %		5.1	4.8	6	221	9.8	4.7	48	3.9	0.2	0.6		80.0	2	
2	12~23		1.8	0.7			16.6	SL					2.5					5.3	4.8	5	418	15.3	3.9	25	3.1	0.6	0.2		73.0		
3	23~45		1.7	0.6			18.7	SL					2.4					5.7	4.9	3	255	9.1	5.8	64	3.6	1.6	0.6		69.5		
4	45~80		2.9	2.2			47.6	CL					2.4					5.2	5.0	1	255	15.5	11.0	71	7.4	2.5	1.1		69.5		
5																															
6																															

北海道土壤統名 拓北(TH)

(水田)



<特徴>

篠路、茨戸の伏古川、旧築寒川河口に分布。土性調査では石狩川下流統に相当する。標高3m内外の平坦な低地にあり、下層に砂層が出る沖積土。表土は腐植に富み、埴土で、保肥力、養分ともに良好である。次層も同様に理化学性が良好で、透水性も良い。80cm内外からは砂層となる。地下水位も低く、一般に生産力が高い土壌である。

示性分級式(水田)

土壌生成力	土壌の厚さ	土壌の粘着性	土壌の可塑性	土壌の保肥力	土壌の透水性	土壌の自保性	土壌の養分	土壌の置換性	土壌の有効養分	土壌の物理的障害	土壌の化学的障害	土壌の生物学的障害	土壌の増大	土壌の冠水	土壌の危険度
II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II

簡略分級式 II tpa

層位	採取部位 cm	層位名	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法			国際法粒径組成			真比重	三相分布		孔隙率 %	pH		りん酸吸収係数 Y ₁	塩基飽和度 %	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重 g	含水率 %		
							粘土 %	粉土 %	シルト %	粗砂 %	細砂 %	Ca		Mg	K		Na											
1	0~14	A	1.9	5.0	2.93	10.9	55.3	C					2.7	固相 %	液相 %	気相 %	5.8	4.6	602	29.5	21.5	73	14.6	4.9	2.0		87.5	
2	14~26	A	4.4	5.2			59.4	C					2.5				6.0	4.8	928	28.2	18.9	67	12.4	4.7	1.8		95.0	
3	26~55	B															4.4	8.9									101.0	
4	55~90	C															4.5	4.4									104.0	
5	90~	C															4.8	0.9									109.0	
6																												

北海道土壤統名 滝野(TN)

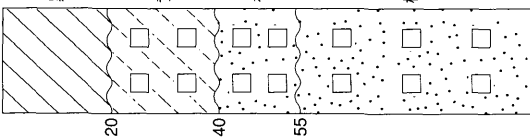
北海道第2次案 軽しよう褐色火山性土(2312)

分布面積 329ha

全国土壤統名 中谷(03D32)

滝野(TN)
(25)

(落葉松林)



粉状、可ぞ粘着弱

小粉塊、可ぞ粘着弱
0.2~1.0cm浮石

不鮮明な小粉塊、粉塊状

土壌群、統群 表層腐植質黒ボク土

簡略分級式 III gase Iftni

<特徴>

札幌～広島～石山丘陵地に広く分布し、厚別、野幌の台地末端部に点在。
土性調査では石山統に相当し、地質は火成岩（母材は凝灰岩）とされている。
標高200～300m（一部は30～70cm）、傾斜10～20度の凝灰岩（豊平浮石部層）の風化残積土
壌である。また、母材は風化した火山灰のため、軽く膨軟で、保水性はあるが、一般に風食、
水食の恐れがある。
表土は腐植に富み、砂壤土で、保肥力、養分は中庸だが、次層以下は一般に養分状態は良く
ない、りん酸固定力もやや高い。

示性分級式(細)

土壌生成力	土壌の厚さ	土壌の深さ	土壌の層	土壌の粘り	土壌の乾燥	土壌の水分	土壌の養分	土壌の物理	土壌の化学	土壌の生物	土壌の環境	土壌の用途
II	III	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
II	III	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

簡略分級式 III gase Iftni

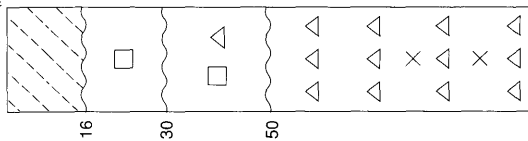
層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法			国際法粒径組成			真比重	三相分布			孔隙率 %	pH		りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重 g	礫含量 %	
								粘土 %	土性 %	SL	SL	S	S		粗砂 %	シルト %	粘土 %		H ₂ O	KCl			Ca	Mg	K				Na
1	0~20		3.9	8.9	0.32	16	17.0	14.4	4.5	3.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5.5	5.1	1	933	15.3	7.1	4.3	2.3	0.5	77.0	17
2	20~40		4.6	4.7							2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	5.4	5.2	1	1347	10.2	3.3	1.4	1.4	0.5	61.5	16
3	40~55		4.3	0.6							2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5.5	5.4	1	1413	13.3	4.2	1.9	0.3	2.0	61.0	19
4	55~		2.5	0.0							2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5.5	5.0	1	806	8.0	2.8	1.9	0.6	0.3	76.5	16
5																													
6																													

北海道土壤統名 南区(MI)

<特徴>

藤の沢、穴の沢、小滝の沢、藻岩山南の沢などに点在。
 土性調査では阿曾岩山統に相当し、三紀層とされている。
 標高200~450m傾斜10~20度の丘陵地にある、泥質砂岩風化残積土で、風化層は50cm内外。
 表土は道壤土で、腐植を含み、保肥力、養分は中庸である。次層は礫を含み、50cm内外か
 ら礫層となるが、礫層は道壤土を含み、保水性はやや悪く、下層に鉄のは
 ん紋がみられる。

南区(MI)
(27)



暗褐 HCL, 可ぞ粘着やや強
Ta-a混入

鈍黄 H, 可ぞ粘着やや強
通気透水良好
1~2cm母岩混入

黄 HCL, 堅密層, 可ぞ粘着やや強
2~4cmの礫多し
通気透水やや不良

灰黄 G(CL), 2~10cmの母岩角礫層
堅密層, 通気透水不良
くだける礫(CL)

示性分級式(畑)

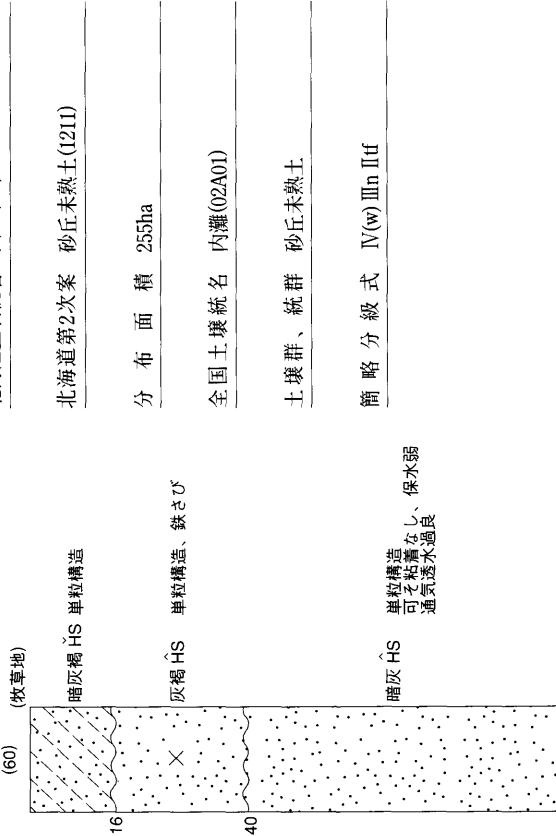
土壤生産力可能性等級	表土の厚さ	表土の粘着性	表土の乾硬さ	透保湿度	白然	養分	置換性	有微酸	有害物理的障害の無	障害	災	地すべりの水の危険度	傾斜の方向	傾斜の傾度	自然の傾斜の方向	侵蝕の程度	
IIIIII	tdgp	w	2322II	222II	f	111III	21	3	II12III	133III	3	133III	3	133III	3	133III	21

簡略分級式 IIIInase IItpwi

層位	採取部位 cm	層位名	水 分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法			真比	国際法粒徑組成			三相分布		pH		りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	置換性塩基 me/100g			有効態りん酸 mg	容積重量 g	礫含量 %
								粘土 %	土性 %	CL		粗砂 %	細粗 %	シルト %	粘土 %	固相 %	液相 %	孔隙率 %				H ₂ O	KCl	Ca			
1	0~16		4.0	4.7	0.27	10	40.2	CL	2.5			5.8	4.4	34	652	6.0	26	4.3	1.7						90.5		
2	16~30		3.9	0.7		2.6	35.3	L	2.6			5.8	4.1	53	436	16.0	69	9.4	6.2	0.4					100.5		
3	30~50		3.3	0.0		2.6	42.8	CL	2.6			5.5	4.0	89	399	20.7	52	6.4	4.1	0.3					100.0		
4	50~		3.3	0.5		2.6	41.6	CL	2.6			5.1	4.3	83	652	21.3	31	3.5	2.3	0.8					99.5		
5																											
6																											

北海道土壌統名 山口(YK)

山口(YK)
(60)



<特徴>

花畔、樽川、山口、新川の石狩砂丘に分布。土性調査では石狩砂丘統に相当する。
標高5m内外、平坦（海岸線と平行して緩い波状を呈する）で、堆積時期の新しい砂丘地で表
土腐植層精乏しく、旱害を受けやすい。
全層砂質のため、保肥力は低く、養分も少ない。また保水性が劣り、透水性は過良である。
地下水位は低い。

示性分級式 (細)

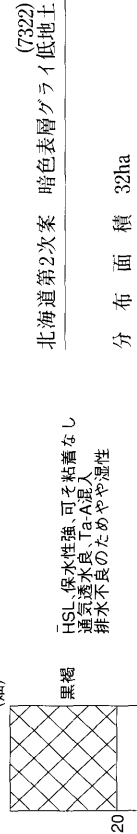
土壌生産力可能性等級	IV	II	III	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
土表有効層の厚さ	td	g	p																	
表土の粘着力	w																			
表土の乾着性	w	(2)	IV	1	3	(2)	II	2	I	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保湿度	f																			
自然保湿度	f																			
土質	sa																			
養分	sa																			
土壤の灰分	sa																			
養分	sa																			
養分	sa																			
養分	sa																			
養分	sa																			
養分	sa																			
養分	sa																			

簡略分級式 IV(w)IIIIn IIIf

層位	採取部位 cm	腐層位名	水含量%	腐層%	全窒素%	全炭素%	C/N	農学会法		国際法粒径組成				真比重	三相分布		pH		りん酸吸収係数	Y1	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重量 g	含量%
								粘土%	砂%	粗	細	シルト%	粘土%		孔隙率%	固相%	液相%	Ca			Mg	K	Na			
1	0~16		1.5	2.3	0.08	16	S	5.1	1.2	16	1.5	5.1	2.7	6.0	5.8	1	502	4.3	4.2	3.0	1.3	131.0				
2	16~40		1.2	1.1			S	1.2	2.8	5.8	5.6	2	260	7.0	4.0	1.7	2.1	0.2	135.0							
3																										
4																										
5																										
6																										

北海道土壤統名 福移(F)

福移(F)
(65)



HSL(停水性強、可ぞ粘着なし、
通気透水不良、小入、
排水不良のためやや湿性)

灰(褐斑)HC(緊密層、可ぞ粘着強、
通気透水不良、
鉄斑点、管、膜あり)

HCL(可ぞ粘着強、
通気透水排水はなはだ不良、
グライイ層)

SL(可ぞ粘着強、
通気透水排水はなはだ不良、
グライイ層、下部は砂土に移行)

全国土壤統名 幡野(14D16)

土壤群、統群 細粒グライイ土

簡略分級式 IIIwn IIta

示性分級式(細)

土壌生成力可能性等級	上	II	III	IV
表土の厚さ	深	中	浅	特浅
土層の層数	多	中	少	特少
土層の質	粘	砂	砂粘	砂
土層の構造	団粒	片状	塊状	単粒
土層の湿度	乾	中	湿	過湿
土層の肥力	低	中	高	特高
土層の排水性	不良	中	良好	特良好
土層の透水性	不良	中	良好	特良好
土層の保水性	高	中	低	特低
土層の酸性	強	中	弱	特弱
土層の塩素	高	中	低	特低
土層の障害	有	無	有	無
土層の物理的障害	有	無	有	無
土層の化学的障害	有	無	有	無
土層の生物的障害	有	無	有	無
土層の生物の危険度	高	中	低	特低
土層の増進すべき	有	無	有	無
土層の地味	粘	砂	砂粘	砂
土層の白	有	無	有	無
土層の自透湿度	低	中	高	特高
土層の自保湿度	高	中	低	特低
土層の自肥力	低	中	高	特高
土層の自排水性	不良	中	良好	特良好
土層の自透水性	不良	中	良好	特良好
土層の自保水性	高	中	低	特低
土層の自酸性	強	中	弱	特弱
土層の自塩素	高	中	低	特低
土層の自障害	有	無	有	無
土層の自物理的障害	有	無	有	無
土層の自化学的障害	有	無	有	無
土層の自生物的障害	有	無	有	無
土層の自生物の危険度	高	中	低	特低
土層の自増進すべき	有	無	有	無
土層の自地味	粘	砂	砂粘	砂
土層の自白	有	無	有	無
土層の自侵	有	無	有	無

簡略分級式 IIIwn IIta

<特徴>

標路の泥炭地の端部に分布。土性調査では当別美登江湿地統に相当する。

標高6m以内の平坦低湿地にある排水不良な粘質土。

表土は腐植に頗る富み(泥炭が一時生成された後、分解したもの)、樽前山灰山灰を混入するため砂壤土で、保肥力が高く、養分は中庸。

次層以下は強粘質で、やや堅く、透水性は不良、45cm以下はグライイ層となっている。

排水不良なため排水改良が望ましい。

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法	国際法粒径組成			真比重	三相分布		孔隙率 %	pH		Y1	りん酸吸収係数	置換性塩基 me/100g				塩基飽和度 %	全塩基 me	塩基置換容量 me	有効りん酸 mg	容積重量 g	含磷量 %	
									粘 %	シルト %	粗砂 %		細砂 %	Ca		Mg	K			Na	固相 %	液相 %	H ₂ O							Kcl
1	0~20		7.1	37.8	1.02		22	SL	22.4			2.1				4.6	3.9	47	939		22.8	1.0	0.7					68.5		
2	20~45		3.8	0.7				C	87.6		2.6					5.1	3.9	94	951		10.9	7.8	0.6					88.5		
3	45~90		3.2	1.9				CL	48.5		2.8					5.0	4.9	2	738		9.5	6.3	1.7					95.0		
4																														
5																														
6																														

北海道土壌統名 丘珠(O)

北海道第2次家 褐色低地土(7112)

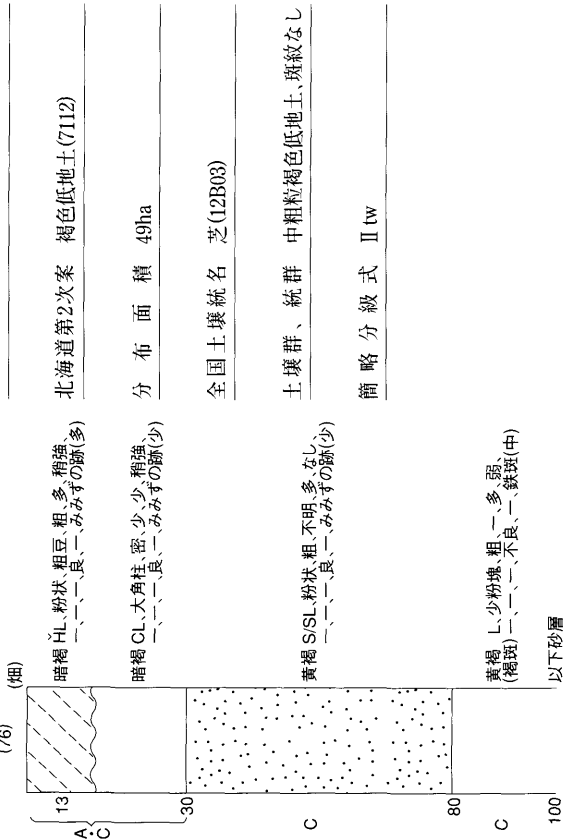
分布面積 49ha

全国土壌統名 芝(12B03)

土壌群、統群 中粗粒褐色低地土、斑紋なし

簡略分級式 II tw

丘珠(O) (76)



以下砂層

<特徴>

元町、東苗穂、丘珠の伏古川上流域に分布。土性調査の豊平川統に相当する。標高7〜13m、平坦な低地、白川統と同系だが、表土は壤質であり、タマネギ生産の中心地である。

土性は壤土で下層は砂質(粗い砂はない)の不規則な累層からなる。地下水位は適度で透水性も良く、理化学性が非常に良好な土壌である。

表土は壤土で、腐植を含み、保肥力や養分状態は良好であり、次層も同様である。

示性分級式(畑)

土壌生産力	土層の厚さ	土質	土質の固着	土層の粘着	土層の乾燥性	土層の保水能力	土層の肥力	土層の塩基状態	土層の酸性	土層の物理的障害	土層の化学的障害	土層の生物学的障害	土層の浸蝕度	土層の耐風蝕性
II	II	I	I	II	II	II	II	I	I	I	I	I	I	I

簡略分級式 II tw

層位	採取部位 cm	層位名	水分%	腐植%	全窒素%	全炭素%	C/N比	農学會法			国際法粒徑組成			真比重	三相分布			孔隙率%	pH		りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基総和度%	置換性塩基 me/100g			有効能りん酸 mg	容積重 g	含水量%	
								粘土%	粉土%	性	粗%	中%	細%		シルト%	粘土%	土性%		固相%	液相%				気相%	H ₂ O	Kcl				Ca
1	0~13	A·C	4.5	2.8	0.23	1.68	7.1	35.0	L					2.7				6.0	5.9	0.3	712	28.5	27.0	94	1.1	4.4	1.1		101	
2	13~30	A·C	4.1	0.7				38.5	CL					2.7				5.7	5.7	0.4	1296	28.7	26.6	93	1.1	3.9	1.1		97	
3		C																5.7	5.7	0.4									107	
4																														
5																														
6																														

北海道土壌統名 篠路(SR)

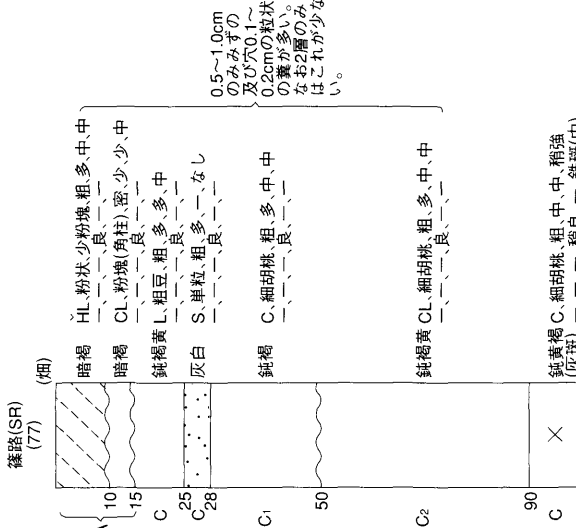
北海道第2次案 褐色低地土(7113)

分布面積 177ha

全国土壌統名 新戒(12A02)

土壌群、統群 細粒褐色低地土、
斑紋なし

簡略分級式 II tw



<特徴>

篠路、丘陵の伏古川下流域に分布。土性調査の豊平川統に相当する。標高60m内外、平坦な低地で、白川統、丘珠統と同様にタマネギ生産の中心地である。主として壤土と埴壤土の累層からなり、土層は膨軟で、透水性は良く、地下水位も適度な、理化学性が良好な土壌である。表土は壤土で、腐植を含み、保肥力、養分状態は非常に良好であり、次層も同様である。

示性分級式(相)

土壌生産力可能性等級	tdgp	土壌の厚さ	td	土壌の粘着性	w	土壌の乾燥度	f	土壌の保湿度	fi	土壌の自固性	fi	土壌の養分層	fn	土壌の置換性	fn	土壌の微酸	fi	土壌の有機物	fi	土壌の物理的障害	fi	土壌の増冠水の危険度	fi	土壌の自然の傾斜	fi	土壌の自傾斜	fi	土壌の侵蝕	fi		
簡略分級式	II tw																														

層位	採取部位 cm	層位名	腐植%	全窒素%	全炭素%	C/N 比	農学会法			国際法粒徑組成			真比重	三相分布			pH		Y ₁	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me/100g				容積重量 g	磷含量 %		
							粘土%	粉土%	砂%	粗%	細%	シルト%		粘土%	液相%	気相%	空隙率%	H ₂ O						KCl	Ca	Mg	K			Na	有効りん酸 mg
1	0~10	A	3.4	3.0	0.12	14.4	37.0	L				2.6					6.3	5.3	0.7	802	28.5	26.0	91	20.2	4.3	1.5			105.0		
2	10~15	A	2.8	1.7			38.0	CL				2.6					5.8	5.1	0.9	794	26.6	25.6	96	18.4	4.7	2.5			103.5		
3	15~25	C	4.5	1.8			30.8	L				2.6					6.0	5.2	0.9	835	23.9	22.5	94	16.7	4.5	1.3			99.5		
4	28~50	C ₁	4.3	0.5			51.3	C				2.5					6.1	5.6	0.7	1130	25.0	24.3	97	18.6	5.4	0.3			91.0		
5	50~90	C ₂	4.9	0.0			38.3	CL				2.5					6.3	5.6	0.7	1240	26.6	24.2	91	17.7	6.4	0.1			93.5		
6																															

北海道土壤統名 茅戸(B)

茅戸(B)
(100)

(牧草地)

純褐 SL、粉状、粗、中、なし
—、—、—、—、—、—、—、—

分布面積 26ha

褐黄 S、単粒、粗、なし
—、—、—、—、—、—、—、—

全国土壤統名 芝(12B03)

土壤群、統群 中粗粒褐色低地土、斑紋なし

簡略分級式 III(t(w))

褐黄 SL、細豆、粗、良、弱
—、—、—、—、—、—、—、—

褐黄 SL、粉状、粗、中、なし
—、—、—、—、—、—、—、—

<特徴>

石狩川下流河岸に分布。土性調査の石狩川下流統に相当する。
標高5m内外、平坦低地にあり、新しい氾濫堆積(砂岩)土である。
砂質土で透水過良で保水性乏しく、乾燥しやすい。
表土は砂壤土で、腐植は乏しく、保肥力、養分状態は中庸である。地下水位は低い。

示性分級式(細)

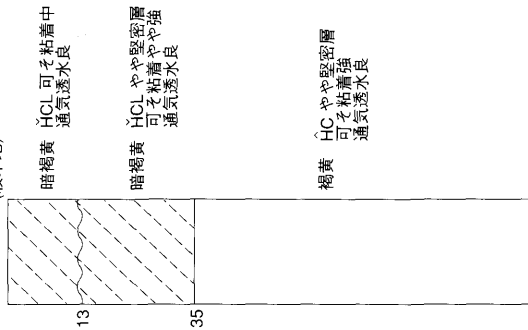
上表有表耕	上(表)透	上(保)	上(濕)	上(白)	上(養)	上(置)	上(有)	上(障)	上(炎)	上(地)	上(增)	上(冠)	上(水)	上(耐)	上(風)	上(風)	上(耐)	上(耐)						
壤生	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の	表上の					
力可	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘	土の粘				
性	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘			
等	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘		
級	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	の粘	
III	1	2	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

簡略分級式 III(t(w))

層位	採取部位 cm	層位名	水分%	腐植%	全窒素%	全炭素%	C/N	農学会法			真比重	国際法粒径組成			三相分布		孔	pH	Y ₁	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重量 g	磷含量 %			
								粘土%	砂%	シルト%		粘	粗	細	Ca	Mg							K	Na							
1	0~15	A	2.2	0.3	0.15	0.18	11.8	15.8	SL	2.6	粗	細	粘	固相%	液相%	氣相%	孔隙率%	6.1	4.6	1.8	449	15.1	15.1	94	8.9	4.6	1.6	105.0			
2	15~45	C	2.2	0.5				12.3	S	2.7								6.1	4.6	2.4	237	12.9	12.1	94	6.6	4.6	0.9	104.0			
3	45~65	C																4.4	21.3								100.5				
4																															
5																															
6																															

河岸(K)
(111)

(牧草地)



北海道土壤統名 河岸(K)

北海道第2次案 褐色低地土(7113)

分布面積 14ha

全国土壤統名 様下(I2A01)

土壤群、統群 細粒褐色低地土、斑紋なし

簡略分級式 III t I l p w n a

<特徴>

篠路などの石狩川下流域に散在。土性調査の石狩川下流域に相当する。
標高5~15m、平坦低地にあり、土性は通壤土で、下層は通土。
地表50~70cm下から地下水が出る所もあるが、全般に湿性は弱い。
表土は通壤土で、腐植を含み、保肥力、養分状態は良好である。

示性分級式(畑)

土壤生産力可能性等級	土の厚さ	土層の深さと	土の粘着力	表土の粘着力	表土の乾燥性	表土の湿度	表土の透水性	表土の保水性	表土の自然肥力	表土の固肥力	表土の上層の固肥力	表土の養分	表土の有効量	表土の微酸	表土の有害物質	表土の物理的障害	表土の生物的障害	表土の冠水の危険度	表土の土壌侵蝕	表土の自然の傾斜	表土の人為的傾斜	表土の自然の傾斜	表土の人為的傾斜	表土の自然の傾斜	表土の人為的傾斜	
III	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
III	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II

簡略分級式 III t I l p w n a

層位	採取部位 cm	層位名	水分%	腐植%	全窒素%	全炭素%	C/N	農学会法		国際法粒径組成				真比重	三相分布		pH		りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重量 g	磷含量%
								粘土%	砂性%	粘土%	シルト%	粗砂%	細相%		孔隙率%	液相%	固相%	H ₂ O				KCl	Ca	Mg			
1	0~13		4.0	2.7	0.20		8	37.8	CL				2.7	固相%	液相%	孔隙率%	5.8	4.7	8	583	23.2	16.2	5.3	1.7		107	
2	13~35		3.8	2.1				41.0	CL			2.7	固相%	液相%	孔隙率%	6.0	5.1	2	748	20.4	11.1	5.6	0.1		102		
3	35~		3.6	1.7				52.5	C			2.6	固相%	液相%	孔隙率%	5.2	5.0	3	695	22.0	18.1	5.9	0.4		95		
4																											
5																											
6																											

北海道土壤統名 盤溪(BK)

北海道第2次案 褐色森林土(3111)

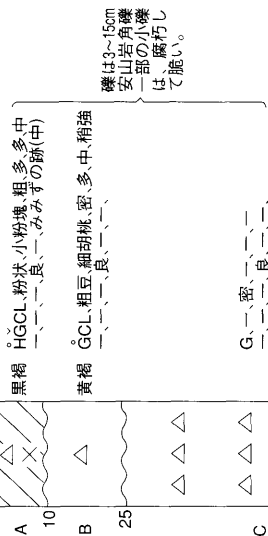
分布面積 106ha

全国土壤統名 泉南(06C20)

土壌群、統群 礫質褐色森林土

簡略分級式 IVt III disc II gpwa

盤溪(BK) (138)



<特徴>

琴似町磐の沢と円山西町、界川町、双子山町、旭ヶ丘など円山周辺地域に分布。土性調査の藻岩山扇状統に相当し、沖積層とされている。標高100m、傾斜3~15度の山麓傾斜地、安山岩由来の扇状堆土地で、礫層が浅い。表土は薄く通壤土で、腐植に富み、保肥力、養分状態は中庸である。25cm内外から礫層(3~15cmの安山岩)が出るため、土壌の保水性は劣り、早害を受け易い。

小性分級式(細)

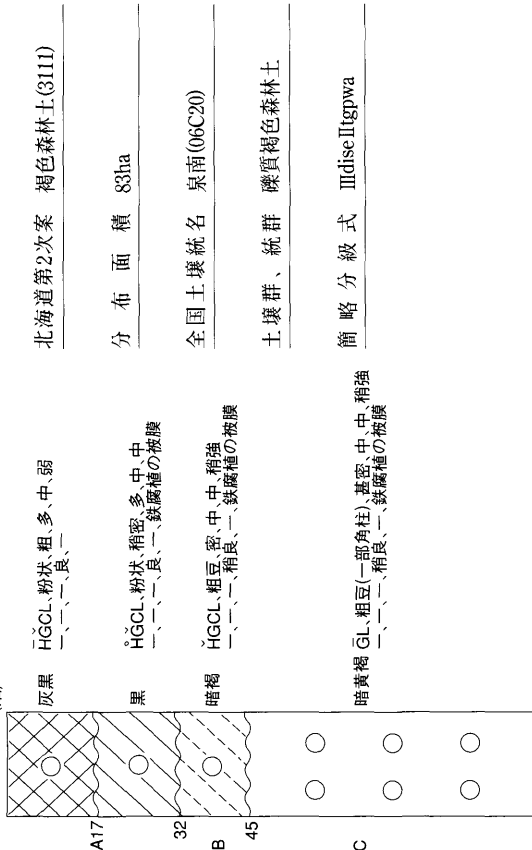
土壌生成力可能性等級	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌厚深さ	td	dg	gp	wa	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の粘着性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の粘着力	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の乾燥性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の保湿度	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の養分交換性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の微菌有害物質障害	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の物理的有害物質障害	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の災害	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の自保性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の自然災害	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の傾斜	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の自傾斜	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の侵蝕	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の耐蝕性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の耐風蝕性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の耐水蝕性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の耐酸性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の耐塩性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の耐鉄毒性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i
土壌の耐毒素性	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i	iv	iii	ii	i

簡略分級式 IVt III disc II gpwa

層位	採取部位cm	層位名	水分			腐植			全炭素			C/N		農学会法				國際法粒径組成			真比重			三相分布			pH		りん酸吸収係数	塩基交換容量 me	全塩基			置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重量 g	含量 %
			%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	Ca			Mg	K	Na						
1	0~10	A	4.0	6.3	1.6	0.31	3.65	11.7	38.2	CL	CL	2.4	2.7	6.0	5.1	1.5	547	21.7	16.3	75.0	12.2	2.8	1.3	96.5															
2	10~25	B	3.2						37.9	CL				6.2	5.0	2.2	389	19.1	18.1	95.0	14.4	3.1	0.6	103.5															
3																																							
4																																							
5																																							
6																																							

北海道土壤統名 北ノ沢(KS)

北ノ沢(KS)
(141)



<特徴>

北の沢など礫岩山麓に分布。土性調査の礫岩山麓状統に相当し、沖積層とされている。
標高120~160m、傾斜7~10度の山麓傾斜地。
安山岩に由来の扇状堆積地、下層は礫層で、表土の腐植は多い。
表土は堆積土で厚く、腐植に富み、保肥力、養分状態は良好、45cm以下は安山岩からなる礫層。
礫層が浅いが、表土は厚く、腐植に富むため、他の類似の土壌よりは土壌の保水性がある。

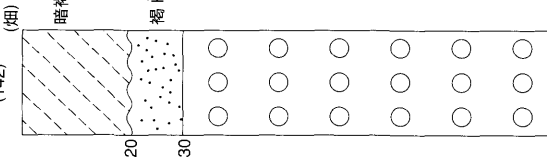
示性分級式(細)

壤生能力	土の厚さ	土の層の深さ	土の粘着性	土の乾燥性	土の透水性	土の保湿度	土の自然保固	土の固着	土の自黄	土の自白	土の自炎	土の自障	土の自微	土の自腐	土の自物	土の自磨	土の自地	土の自侵	土の自耐	
II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II

簡略分級式 IIIidise IItpwa

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N	農学会法			国際法粒径組成			真比重	三相分布		pH	Y ₁	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重量 g	含水率 %		
								粘土 %	砂 %	シルト %	粗 %	細 %	粘土 %		Ca	Mg					K	Na						
1	0~17	A	5.0	14.5	0.46	8.41	18.3	38.5	CL				2.3	固相 %	液相 %	空隙率 %	6.5	5.3	498	27.1	20.2	74	13.9	2.7	3.6		96.0	
2	17~32	A	7.0	8.4	4.88			43.5	CL				2.5				6.0	5.4	769	25.1	21.2	84	13.0	2.7	5.5		99.0	
3	32~45	B	6.7	4.4	2.56			35.5	L				2.7				6.3	5.4	659	19.5	17.5	89	11.9	3.7	1.9		101.5	
4	45~	C	5.0	1.9	1.10			27.7	L				2.9				6.7	5.4	641	15.1	12.1	80	7.8	4.0	0.3		116.0	
5																												
6																												

星野(HN)
(142)



北海道土壌統名 星野(HN)
北海道第2次案 褐色低地土(7111)
分布面積 10ha
全国土壌統名 滝沢(L2C05)
土壌群、統群 礫質褐色低地土、斑紋なし
簡略分級式 III d(w) I Iftn

<特徴>

星野の一部に分布。土性調査の発寒川扇状統に相当する。
標高10m、傾斜3度内外の低地、砂礫層が浅く出る。
集塊岩、安山岩に由来した新しい扇状堆土。
表土は砂壤土で、腐植を含み、保肥力、養分状態は良好である。
30cm以下は砂礫層である。保水性の劣る土壌であるが、地下水位がやや高いため、旱害の恐れは少ない。

示性分級式 (細)

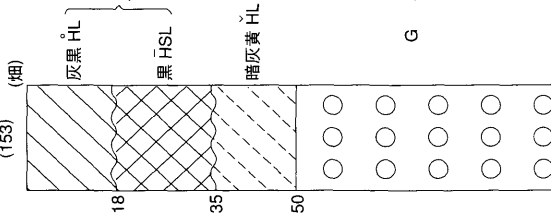
土壌生成力	III	II	III	II	III	III	III	III	III	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	
粘り	弱	中	強	弱	中	強	弱	中	強	弱	中	強	弱	中	強	弱	中	強	弱	中	強	弱	中	強
砂質	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少
灰分	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少	多	中	少
有機物	少	中	多	少	中	多	少	中	多	少	中	多	少	中	多	少	中	多	少	中	多	少	中	多
酸度	低	中	高	低	中	高	低	中	高	低	中	高	低	中	高	低	中	高	低	中	高	低	中	高
潜性	無	弱	強	無	弱	強	無	弱	強	無	弱	強	無	弱	強	無	弱	強	無	弱	強	無	弱	強
交換	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低
塩基	飽和	中	欠乏	飽和	中	欠乏	飽和	中	欠乏	飽和	中	欠乏	飽和	中	欠乏	飽和	中	欠乏	飽和	中	欠乏	飽和	中	欠乏
容積	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低	高	中	低

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N	農学会法			国際法粒徑組成				真比重	Y ₁	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重量 %	
								粘土 %	砂 %	粗 %	細 %	シルト %	粘土 %	シルト %							Ca	Mg	K			Na
1	0~20		4.1	4.3	0.23	11		22.2	16.0					2.7	45	679	29.1	22.5	18.0	3.7	0.8			102.5		
2	20~30		2.7	0.5									2.8	3	566	27.8	24.2	20.5	3.3	0.4				92.5		
3																										
4																										
5																										
6																										

北海道土壌統名 土場(D)

<特徴>
 真駒内川上流域の土場に分布。土性調査では豊平川扇状地に相当し、沖積層とされている。
 標高100~200m、傾斜3度内外の沢地。
 母材は凝灰岩（支笏塔結凝灰岩類）の沖積層扇状堆土地、土層の状態は不均一だが、下層は安山岩の礫層が出るが多い。
 母材の影響で表土は腐植に傾る富み、壤土で、軽く（軽しよう質）、りん酸固定力もやや高い。
 保肥力、養分状態は良好である。50cm内外から礫層となるが、地下水位は低く、透水性も良く、保水性も良い土壌である。

土場(D)
(153)



全国土壌統名 大清水(03C21)

土壌群、統群 表層多腐植質黒ボク土

簡略分級式 II t d w f

示性分級式 (細)

土壌生産力	中等	性	弱	土	の	厚	深	層	の	腐	植	質	黒	ボ	ク	土
土壌生産力	中等	性	弱	土	の	厚	深	層	の	腐	植	質	黒	ボ	ク	土
土壌生産力	中等	性	弱	土	の	厚	深	層	の	腐	植	質	黒	ボ	ク	土
土壌生産力	中等	性	弱	土	の	厚	深	層	の	腐	植	質	黒	ボ	ク	土
土壌生産力	中等	性	弱	土	の	厚	深	層	の	腐	植	質	黒	ボ	ク	土

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N	農学会法		国際法粒径組成			真比重	三相分布	pH		りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重 g	磷含量 %				
								粘土 %	砂 %	粗	細	シルト %			粘土 %	Ca				Mg	K	Na				飽和度 %	H ₂ O	KCl	Y ₁
1	0~18		3.6	8.6	0.41	12	25.1	L					2.4			6.3	4.8	2	717	28.4	19.8	70	16.9	2.5	0.4			86.5	
2	18~35		3.9	12.3			24.6	SL					2.4			6.0	4.2	46	1,586	45.0	14.9	33	10.5	2.8	1.6			68.5	
3																													
4																													
5																													
6																													

北海道土壌統名 東篠路 (HR)

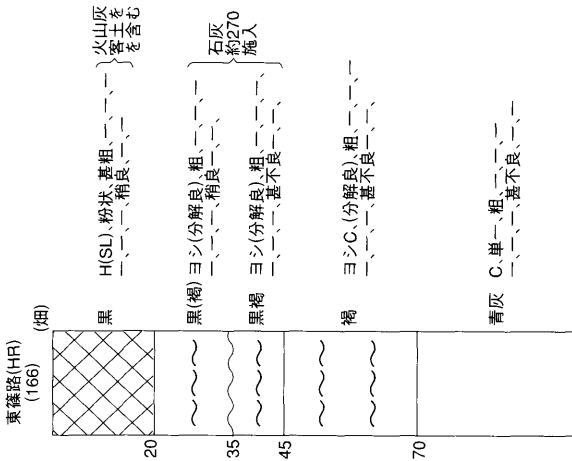
北海道第2次案 無機質表層低位泥炭土 (8121)

分布面積 83ha

全国土壌統名 谷中 (16A05)

土壌群、統群 泥炭土

簡略分級式 IIIwn IItae



<特徴>

石狩南部の泥炭地の、主として周辺部に散在する。土性調査の石狩南部低位泥炭統に相当する。標高10m内外、低湿地、ヨシを主としてハンノキを混じた泥炭層からなるが、40~60mで植土層となっており、泥炭層の厚いものに比し分解進んでいる。表土は分解が進んだ低位泥炭に火山灰や客土が混入したもの(砂壤土)で、保肥力、養分状態は良い。以下20~70cmは分解良のヨシ泥炭で、70cm以下はグライ層(青粘土層)となっている。

示性分級式(細)

上表有表耕	土の風土の粘土着硬さ	土の乾燥性	土の乾性	土の湿度	土の酸性	土の塩基性	土の微酸量	土の有効養分	土の物理的障害	土の有害物質	土の増冠水の危険度	土の自然傾斜	土の人為傾斜	土の侵蝕
壤生産力可能性等級	tdgp	w	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III
簡略分級式	IIIwn IItae													

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法		国際法粒径組成			三相分布		孔		pH		Y ₁	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	置換性塩基 me/100g			有効能りん酸 mg	容積重量 g	磷含量 %	
								粘土 %	砂 %	シルト %	粘土 %	固相 %	液相 %	気相 %	空隙率 %	H ₂ O	KCl	Ca					Mg	K	Na				
1	0~20		7.2	37.2	1.05	21.6	20.6	16.0	SL									4.5	3.8	100	1,320	15.5	28	11.0	2.8	1.7		65.5	
2	20~35		8.8	67.5				8.0	泥炭									4.3	3.9		1,342	27.4	29	24.0	1.0	2.4		27.0	
3																													
4																													
5																													
6																													

生 産 力 可 能 性 分 級 基 準

(附表1)

等級	基 準									
	I 等		II 等		III 等		IV 等		考	
基準項目	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑
表	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑
記号	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑
表(作)上の厚さ	25~15cm	25cm以上	15cm以下	25~15cm	15cm以下	15cm以下	15cm以下	15cm以下	15cm以下	15cm以下
有効土層の深さ	100~50cm	100cm以上	50~25cm	100~50cm	50~15cm	50~25cm	50~15cm	50~25cm	15cm以下	25cm以下
表(作)上の礫含量	20%以下	10%以下	20%以下	10~20%	10~50%	10~50%	20%以上	20%以上	50%以上	50%以上
耕耘の難易	耕起、碎土が容易である	耕起、碎土が容易である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土がやや困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である
湛水透水性	小~中	大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大
酸化還元性	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している	還元性が強く水田の湛水層中の酸素が不足している
土地の乾湿	過湿または過乾のおそれがないか、又は少ない	過湿または過乾のおそれがないか、又は少ない	過湿または過乾のおそれがないか、又は少ない	過湿のおそれがある	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが甚しい	過湿のおそれが甚しい	過湿のおそれが甚しい
自然肥沃度	高	中	低	中	中	中	中	中	中	中
養分の豊否	多	中	少	中	中	中	中	中	中	中
障害性	有害物質および物理的障害なし	障害程度の小さい有害物質あり、または除去やや困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害
災害性	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が始どない
傾斜	3°以下	8°以下	15°以下	3~8°	8~15°	8~15°	8~15°	8~15°	15°以上	25°以上
侵蝕	侵蝕のおそれがないかまたはきわめて少ない	侵蝕のおそれがないかまたはきわめて少ない	侵蝕のおそれがある	侵蝕のおそれがある	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが甚しい	侵蝕のおそれが甚しい
第 I 等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的に始どあるいは全く制限因子あるいは阻害因子がなく、また土壌悪化の危険性もない良好な耕地とみなされる土地									
第 II 等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的にみて若干の制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまた土壌悪化の危険性が多少存在する土地									
第 III 等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的にみてかなり大きな制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまた土壌悪化の危険性のかなり大きい土地									
第 IV 等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的にみてきわめて大きな制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまた土壌悪化の危険性がきわめて大きく耕地として利用するに、は、きわめて困難と認められる土地									
備考	1) 令層は礫の土層断面中の面積割合を示す 2) 水田の10~50%普通作物の50%、桑、茶の20%以上 3) 果樹の10%以上については株の大きさ、風化の程度、含量の多少を考慮して等級を決定する 表(作)上の土性、粘着性および風乾土の硬さから判定する 作土下50cmの土性、ち密度から判定する 作土の易分解性有機物含量、遊離酸化鉄含量およびソライ化度から判定する 透水性、保水性、湿度 (土壌の年間わたる支配的水分状態) から判定する 保肥力、固定力および土層の塩基状態から判定する 置換性石灰、苦土、加里含量、有効態燐酸、窒素、珪酸含量、微量要素含量および酸度から、当該地区において特に問題となることを考えられる要因に重点を置いて判定する 1) 有害物質とは硫酸化合物、重金属、塩類または灌漑水による害をいう 2) 物理的障害とは地表下50cm以内)に存在する基岩層、硬い土層層あるいは未風化巨礫などによる甚しい物理的障害をいう 増冠水および地すべりの危険度から判定する 1) 分級は自然傾斜を主とし、傾斜の方向、人為傾斜を考慮に入れて総合的に行う 2) 果樹の8~25°については、樹種、傾斜の方向、微気象的条件を考慮して等級を決定する 分級は侵蝕度を主とし、耐風蝕性、耐風蝕性を考慮して行う									

基準項目	要因項目				要因			強度		備考
	1	2	3	4						
排水透水性	作土下50cmの土性	SC.LiC.SiC.HC	微		SCL.CL.SiCL	細	SL.FSL.L.SiL.SLS	中粗		
作土下50cmの最高密度	硬度計の読み25以上	密			硬度計の読み24~11	中	硬度計の読み10以下	疎		
作土の易分解性有機物含量	風乾生成量及び高温生成量が10以下	少			風乾生成量が10~20及び高温生成量が10~15	中	風乾生成量が20以上及び高温生成量が15以上	多		乾土100g当たりのNH ₄ -N生成量(mg)
作土の遊離酸化鉄含量	1.5以上	多			1.5~0.8	中	0.8以下	少		乾土%
グライ化度	50cm以内にグライ層のないもの	弱			50cm以内より下部にグライ層のあるもの	中	全層グライ、作土直下からグライ層のあるもの	強		1) 作土グライ、または作土直下のみグライは要因強度を1とす 2) 泥炭、黒泥層はグライ層に準じて取扱う 3) 要因強度が1でも作土中の地下水水位が高く排水不良の場合は強度を2に下げる
保肥力	CEC20以上	大			CEC20~6	中	CEC6以下	小		作(表)土の塩基置換容量(me)から判定する
固定力	磷酸吸収係数700以下	ごく少			磷酸吸収係数700~1500	小	磷酸吸収係数1500~2000	中		磷酸吸収係数2000以上
土層の塩基状態	pH(H ₂ O)5.5以上で置換性石灰飽和度50%以上	良			pH(H ₂ O)5.0~5.5で置換性石灰飽和度50~30%	中	pH(H ₂ O)5.0以下で置換性石灰飽和度30%以下	不良		
置換性石灰含量	200mg以上(乾土100g当り)または置換性石灰飽和度50%以上	多			200~100mg以上(乾土100g当り)または置換性石灰飽和度50~30%	中	100mg以下(乾土100g当り)または置換性石灰飽和度30%以下	少		
置換性苦土含量	25mg以上	多			25~10mg	中	10mg以下	小		乾土100g当り
置換性加里含量	15mg以下	多			15~8mg	中	8mg以下	小		乾土100g当り
有効態磷酸含量	10mg以上	多			10~2mg	中	2mg以下	小		乾土100g当り
有効態窒素含量	風乾生成量20mg以上	多			風乾生成量20~10mg	中	風乾生成量10mg以下	小		乾土100g当り
有効態珪酸含量	15mg以上	多			15~5mg	中	2mg以下	小		乾土100g当り
微量要素含量	欠乏症状が全く、あるいは殆どない	良			欠乏症状がかなり発生する	中	欠乏症状が甚だしく発生する	弱		
酸度	pH(H ₂ O)6以上またはY3以下	弱			pH(H ₂ O)6~5またはY3~6	中	pH(H ₂ O)5~4.5またはY6~15	強		pH(H ₂ O)とY ₁₀ の測定結果が一致しないときは要因強度が強くの方をとる

(付表2) 土壌分類の一覧

農耕地土壌分類・第2次案（昭和58年、農技研土壌第3科）

農水省、学会等で使われている事実上の全国共通の分類法で、造成土を除くと16土壌群56土壌統群320土壌統よりなる。

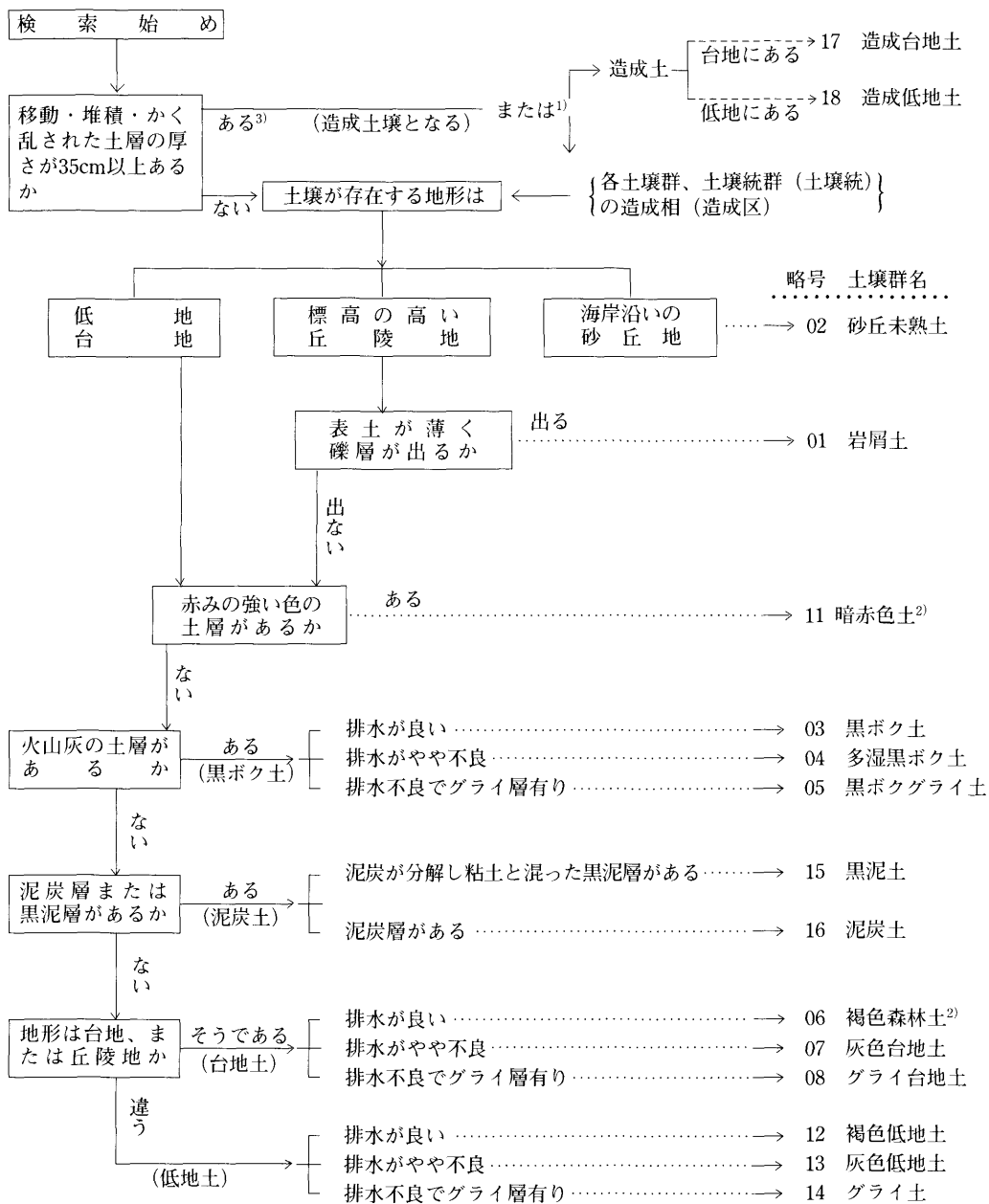
土壌群、土壌統群一覧

01 岩 屑 土	L	B 中粗粒黄色土	Y-mc
02 砂 丘 未 熟 土	RS	C 礫質黄色土	Y-g
03 黒 ボ ク 土	A	D 細粒黄色土、斑紋あり	Y-wf
A 厚層多腐植質黒ボク土	A-tr	E 中粗粒黄色土、斑紋あり	Y-wmc
B 厚層腐植質黒ボク土	A-th	F 礫質黄色土、斑紋あり	Y-wg
C 表層多腐植質黒ボク土	A-r	11 暗 赤 色 土	DR
D 表層腐植質黒ボク土	A-h	A 細粒暗赤色土	DR-f
E 淡色黒ボク土	A-l	B 礫質暗赤色土	DR-g
04 多 湿 黒 ボ ク 土	AW	12 褐 色 低 地 土	BL
A 厚層多腐植質多湿黒ボク土	AW-tr	A 細粒褐色低地土、斑紋なし	BL-f
B 厚層腐植質多湿黒ボク土	AW-th	B 中粗粒褐色低地土、斑紋なし	BL-mc
C 表層多腐植質多湿黒ボク土	AW-r	C 礫質褐色低地土、斑紋なし	BL-g
D 表層腐植質多湿黒ボク土	AW-h	D 細粒褐色低地土、斑紋あり	BL-wf
E 淡色多湿黒ボク土	AW-l	E 中粗粒褐色低地土、斑紋あり	BL-wmc
05 黒ボクグライ土	AG	F 礫質褐色低地土、斑紋あり	BL-wg
A 多腐植質黒ボクグライ土	AG-r	13 灰 色 低 地 土	GrL
B 腐植質黒ボクグライ土	AG-h	A 細粒灰色低地土、灰色系	GrL-f
C 淡色黒ボクグライ土	AG-l	B 中粗粒灰色低地土、灰色系	GrL-mc
06 褐 色 森 林 土	B	C 礫質灰色低地土、灰色系	GrL-g
A 細粒褐色森林土	B-f	D 細粒灰色低地土、灰褐色	GrL-bf
B 中粗粒褐色森林土	B-mc	E 中粗粒灰色低地土、灰褐色	GrL-bmc
C 礫質褐色森林土	B-g	F 礫質灰色低地土、灰褐色	GrL-bg
07 灰 色 台 地 土	GrU	G 灰色低地土、下層黒ボク	GrL-a
A 細粒灰色台地土	GrU-f	H 灰色低地土、下層有機質	GrL-o
B 中粗粒灰色台地土	GrU-mc	I 灰色低地土、斑紋なし	GrL-d
C 礫質灰色台地土	GrU-g	14 グ ラ イ 土	G
D 灰色台地土、石灰質	GrU-ca	A 細粒強グライ土	G-sf
08 グ ラ イ 台 地 土	GU	B 中粗粒強グライ土	G-smc
A 細粒グライ台地土	GU-f	C 礫質強グライ土	G-sg
B 中粗粒グライ台地土	GU-mc	D 細粒グライ土	G-f
C 礫質グライ台地土	GU-g	E 中粗粒グライ土	G-mc
09 赤 色 土	R	F グライ土、下層黒ボク	G-a
A 細粒赤色土	R-f	G グライ土、下層有機質	G-o
B 中粗粒赤色土	R-mc	15 黒 泥 土	M
C 礫質赤色土	R-g	16 泥 炭 土	P
10 黄 色 土	Y	17 造 成 台 地 土	MU
A 細粒黄色土	Y-f	18 造 成 低 地 土	ML

(09、10は北海道には存在しないとされている)

＜土壌の種類を探しあてるための検索表＞

厳密な意味での検索表ではないが、土壌分類、つまり土壌の種類わけ方の流れを説明するために大まかなものを以下に示した。



注 1) 二通りに区分けするための定義は省略した。

2) 09黄色土、10赤色土は北海道に存在していないため省略した。

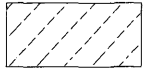
3) 既存の分類にほぼあてはまれば必ずしも造成土壌とする必要はない。

(付表3)

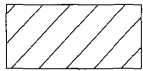
<断面柱状図の記号の説明>

以下のうち、腐植は重量割合、その他は断面中の面積割合による。

腐植 (ふしょく)



含 む
(2~5%)



富 む
(5~10%)



すこぶる富む
(10%以上)

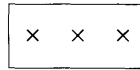
はん紋…雲状、膜状、糸根状、状状



含 む
(2~20%)

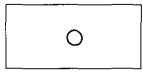


富 む
(20~50%)

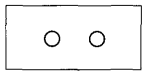


すこぶる富む
(50%以上)

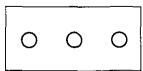
礫 (レキ)



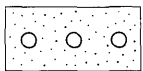
含 む
(5~10%)



富 む
(10~20%)



礫 層
(20%以上)

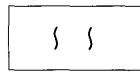


砂 礫 層

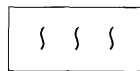
はん紋…管状、脈状



有 り
(2%未満)



含 む
(2~20%)



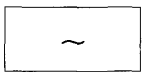
富 む
すこぶる富む
(20%以上)

結核状、点状

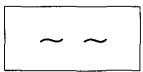


- 円レキ (丸いレキ)
- 半角レキ (やや丸いレキ)
- △ 角レキ (とがったレキ)
- 火山軽石 (パーミス)

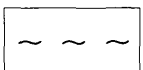
泥炭 (でいたん)



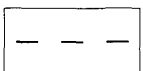
含 む
(1/3未満)



富 む
(1/3以上~2/3未満)

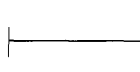


泥 炭 層
【面積割合で2/3以上を }
占め腐植含量20%以上】

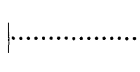


黒 泥 層

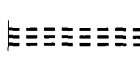
土層の境界



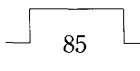
明 瞭
(3cm未満)



やや明瞭
(3~5cm)



漸 変 (次第に変化)
(5cm以上)



湧水位置
(cm)

直線状 (平坦)

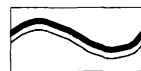


波 状



不規則

盤 層



(付表4)

土地改良、土層改良を必要とするか、あるいは考慮の対象となり得る土壌

(水田)

目的	対策	基本的に改良が必要あるいは望ましいと思われる土壌
排水改良	暗渠排水	地下水位が高く、排水不良なもの (04、05、07、08、13、14、15、16)
	心土破碎	地下水位は低い、表土が粘質で表面排水が不良になりやすいもの (06A、11A、12A・D)
地耐力増強 耕土補給	鉍質土客土	泥炭や黒泥が表層にあるもの (15、16)
耕土補給 土性改良	粘土客土	表土の土性が砂質のもの (02、及び03・04・05のうち粗粒火山灰のもの)
	砂・火山灰客土	表土の土性が強粘質のもの (06A、07A、08A、11A、12A・D、13A・D、14A・D)
除耕土補給 礫	除客 礫土	表土に礫が多量に混入するもの、礫層が浅いもの (06C、07C、08C、11B、12C・F、13C・F、14C)

(畑地・草地・樹園地)

目的	対策	基本的に改良が必要あるいは望ましいと思われる土壌
排水改良	暗渠排水 心土破碎	排水不良なもの、表面排水が不良になりやすいもの (04、05、06A、07、08、11A、12A・D、13、14、15、16)
地耐力増強 耕土補給	鉍質土客土	泥炭や黒泥が表層にあるもの (15、16)
耕土補給 土性改良	粘土客土	表土の土性が砂質のもの (02、及び03・04・05のうち粗粒火山灰のもの)
	砂・火山灰客土	表土の土性が強粘質のもの (06A、07A、08A、11A、12A・D、13A・D、14A・D)
除耕土補給 礫	除客 礫土	表土に礫が多量に混入するもの、礫層が浅いもの (06C、07C、08C、11B、12C・F、13C・F、14C)
土層改良	混層耕 (反転客土耕) (改良反転客土耕)	理化学性が不良な火山灰層と良好な埋没火山灰層(又は沖積層、洪積層)とを混合あるいは交換して活用する耕起法。 (03・04・05のうち土層の状態が目的にかなっているもの)
	心土肥培耕	心土の科学性が不良で、改良資材の投入が可能なもの (03・04・05の大部分)
	心土硬盤破碎	表土の下の土層が硬い(堅密)か、あるいは硬くなりやすいもの (02・03の一部と15・16の一部を除く大部分の土壌)

札幌市農耕地土壤図

平成14年3月発行

発行 札幌市役所

編集 札幌市経済局農務部 農業指導センター
北海道立中央農業試験場 農業環境部 環境保全科